

令和 5 年度第 3 回山梨工業会関西支部理事会議事録

【開催日時】 令和 6 年 1 月 20 日 14:00～16:30

【場所】 中央電気倶楽部 204 号室

【出席者】 興水支部長、長谷川、南、宮内、川口、小川、辻井(記録) (敬称略、順不同)

【議事内容】

1. 令和 5 年度会員消息確認のまとめ (支部活動活性化助成金対象)

関西支部の会員状況の現状把握のため住所録を基に 1,313 通の往復はがきを発送した。

・返信があったのは 619 通、返信なし 694 通、宛先不明 229 通で、返信はがきに総会出欠の記入のあったのは 366 通 (出席回答 23 通、欠席回答 343 通) であった。因みに、電子メールによる出席回答は 30 名 (はがきとの一部重複あり) であった。

・往復はがきへの氏名、連絡先の記載:会員からの指摘もあり、個人情報保護の観点から、今後消息確認のために予め記載しておく内容は、氏名、卒業年、学科、在住府県名までとする。総会で配布した「総会参加者一覧」への記載についても指摘があり同様とする。

・その他:物故者となられた会員のご家族の方から返信を 24 通頂いた。また総会欠席の会員の方々から、今回は都合がつかない旨と交流活動や親睦会の開催に賛同する旨のコメントが多く寄せられた。

2. 本年度総会の振り返り並びに総会参加者アンケートの回答集計結果と分析

①アンケート結果の概要

参加者 57 名の内、51 名から回答があった。

・開催を知った手段は、はがき 39%、メール 17% であった。因みに初参加 14 名の内、はがきと回答したのは 9 名であった。参加した動機としては、「講演テーマに興味があった」を理由の一つと答えた人が 31%(20 名)と最も多く、初参加 14 名中 11 名の方も「講演テーマ」を参加理由の一つに挙げていた。

・講演の内容について、とても良かった、または良かったと回答した人が、ほぼ 100% であった。今後の要望については、大学や山梨、甲府についての話題や学部間、支部間または異業種・異分野との交流の機会を設けてほしい等の意見・要望が寄せられた。

②総会への意見

・講師、講演内容が非常に良かった。内容のレベル、必要な資材から判断するとそれなりの費用は要したが、見合った内容であったと考えられる。今回は、本部からの総会活性化・支部活動への助成があり、参加費と例年の総会補助等も合わせて、要した経費は計画した予算の範囲に納める事ができた。

・次回の総会については、ワイン科学研究所の鈴木俊二教授にご講演を打診する。場所は、同じリーガロイヤルホテルとするか、中央電気倶楽部を利用するかは、ご講演の可否とその内容も含めて引き続き検討していく。

・はがきによる総会、講演会の告知はした方が良い。案内メール便の外注も検討する。東

京支部は、支部だよりと共に総会の案内を送っている。依頼している業者の情報を東京支部に確認する（支部長）。

・生命環境学部が設立（2012年）されて10年以上になるが、同学部卒業生の関西支部総会・活動への参加が極めて少ないので、支部からの案内の仕方を検討する必要がある。

3. 支部活動計画

1) 異業種交流会

①開催場所 サントリービール京都工場

②開催日時 第一候補 4月7日（日）午前中

第二候補 4月6日（土）、4月20日（土）の午前中

③懇親会 候補 ヒロ（JR山崎駅前）、休日の開催につき他の候補も検討

2) ケナフの会

5月に開催予定、場所は未定

3) アンサンブルあざみ

練習会の予定 2月3日 4月6日

4) 新規関西支部活動の計画・検討

東京支部の講演活動なども参考に、関西支部でも新しい活動を検討することになった。その一つとして、講演会の開催を通じて大学教員と支部の連携を図ることができれば、卒年経過の若い会員の参加可能性を拡大し支部活動活性化にも寄与できると考える。具体的には、支部若手理事を中心としたメンバーで別途検討を開始し、活動の計画および実施を担当する。

（本部の支部活動強化活動への連動も考慮して、早期の実績作りを目指す。）

5) 理事会開催予定 7月20日（土）、9月7日（土）、10月26日（土）総会当日

4. その他

・振替口座（ゆうちょ銀行の受払明細通知口座）の扱い

使用していない現有の振替口座は、廃止の手続きをする。

以上